

## 令和2年度串本町病院事業改革評価委員会評価結果及び意見について

\*\*\*\*\*

令和3年3月5日に行われた標記委員会において、事務局から以下の内容が報告されました。

平成28年度に策定したくしもと町立病院改革プランは、平成28年度から令和2年度までの5年間の計画期間として策定したものです。当評価委員会は、改革プランの進捗状況等を確認する場となっており、今回は計画の4年目にあたる令和元年度の取組状況を確認する会議となります。

令和元年度は医業収益において、計画値を40,208千円下回っています。未達成の主な要因は、診療単価は計画値を上回っているものの、患者数が計画値に届いていないため入院収益で32,991千円、外来収益で5,368千円未達成となっていることです。費用面では、法定福利費である共済組合負担金等の増により職員給与費などで計画値を上回りましたが、主に材料費が減少したことで、医業費用、経常費用とも計画値を達成しています。経常損益は、4,256千円の黒字となる計画でしたが、医業収益の減少が要因で、7,398千円の赤字となりました。経常収支の黒字化については、令和2年度で達成できる見込みとなっています。資金不足額については、医業収益が計画値を下回ったことが要因となり、計画値より30,304千円多い232,301千円となっています。資金不足比率については、2.2%多い14.6%となりましたが、前年度実績から4.2%良化しています。

経営指標に係る数値目標では、上記のとおり、医業収益の減少が要因となり、経常収支比率等の指標が未達成となりましたが、材料費対医業収益比率、診療単価、職員数、医師数、企業債残高で計画値を達成しています。特に入院（一般病床）に係る診療単価では、平成28年度実績と比較し、約3,800円増と大きく増加しています。

数値目標達成に向けての具体的な取組について、民間的経営手法の導入としまして、外部コンサルタントによる病床機能の転換に向けた院内説明会を実施したほか、全医師及び各部署長が出席する病院運営協議会で経営状況の報告や問題意識の共有を図り、意見箱設置や接遇委員会の開催により患者サービス向上に努めています。

事業規模・事業形態の見直しとして、地域医療構想に基づく病床機能再編の一環として、令和元年9月に、90床ある一般病床のうち20床を地域包括ケア病床に転換しました。

経費削減・抑制対策については、材料費において、後発医薬品使用率を高めたこと、その他の診療材料についても安価なものへの置き換えや交渉により価格抑制に取り組み、約27,000千円計画値を下回ることができました。委託料については、医事業務や給食業務の見直し、旧串本病院解体時から保管していたPCB廃棄物の処理を行ったことから約24,000千円計画値を上回りましたが、医療機器の保守料を中心に契約の見直しを行うことで委託料の削減に取り組みました。医療機器購入費については、購入機器の

精査を行い計画値を約 32,000 千円下回りました。その他の費用では、光熱水費で約 1,700 千円計画値を下回りました。

収入増加・確保対策については、医師の確保において、定期的に近畿大学医学部を訪問することなどにより、目標値である 12 名の常勤医師を確保することができました。手術件数、病床利用率については、計画値を達成できませんでしたが、手術件数については、主に外科の手術件数の増により、前年度比 49 件の増となりました。診療機能の向上について、作業療法士を新たに 1 名採用して 3 名配置したほか、産婦人科午後診療、アレルギー免疫療法、レディース外来、助産師外来の開設、認定看護師資格取得、麻酔科の標榜など診療機能の充実を図り、施設基準を引き上げることで診療単価の向上を図りました。広報活動の充実について、医師及び認定看護師による出張公開講座を計 3 回開催。従来の広報活動は町広報誌、ホームページで行っていましたが、病院広報誌「うみつばめ」を年 4 回発行し、フェイスブックでも情報を発信しました。旧国保直営串本病院の跡地については、駐車場として大江戸温泉物語グループ株式会社に 6 年契約による貸し付けを行っているほか、空いた敷地は別業者と長期の賃貸借契約を交わして使用料収入を得ています。

#### <その他>

新たな病院事業管理者が就任して以降の診療報酬の見直しや費用の削減などの改革により、令和元年度は前年度から、医業収益で約 90,000 千円改善、医業費用では約 60,000 千円改善するなど大幅な収支改善を行うことができ、改革プランの目標値に近い実績を挙げることができました。令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響による受診控えなどで入院、外来患者数ともに減少していますが、診療単価の向上等によりその影響を最低限に抑えることができ、国県からの補助金、一般会計からの繰入れをいただくことで、新病院開院以来初めての黒字を達成できる見通しとなっています。

\*\*\*\*\*

委員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

- 説明にもあったように、くしもと町立病院はこれまで努力を重ねてきた結果、収支の改善が図られた。そのことがないままコロナ禍を迎えていたと考えると恐ろしい。良い部分も町民の皆様に分かっていただければ良いと思う。